

# 絵入 宝物集 上

栃山文学園大学デジタルライブラリー

栃山文学園大学図書館



寶相集 上

天保  
十二年  
九月  
廿五日



63B 839

浪花えりの秋落葉の圓の鶴と月二年九月  
とひゆうまよくりてけくふせうに時の方をまつた  
ときくさあじとせあひだすあみわらわくわく  
よじておもと月やまとてかくとてかくとてかく  
かくとてかくとてかくとてかくとてかくとてかく  
入ゆりぬばくとおもひよきとおもひよきとおもひよ  
てびきうまれむらのまそくわよながよびよゆん集と  
あるととやうれ三年の暮とておもひよくとおもひよ  
のえりうわわうりとくともうまきんぢうとくとも  
ありゆゑとくともう思案うもまくありまゐなとへばく  
とくじゆくかくとくとくようちうとくとくよう  
とくとく世とくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

まく。つとめくも聲をなふ佛事あてもうるべが爲主教せ  
て是をうりゆひてお母なりお報恩縁とぞあるいじと。初  
利未水はりゆひーと優國大王あくらゆをまうか  
て異首鷄麻ひとく人ふあくらゆ。赤梅松とも門でばく  
ちとうちてとくあくよ々々九日もく。天竺へくらかふ時。  
せんうの佛金形水精うのゆきをばじうひよゆづらば  
ひももば併の處く。我い中ものもえんばもて涅槃よ  
くへきをうすんあんの併の處の慈悲とすわくしゆき  
をうそ。西シナホスニゆりゆひよかは自乍被約アキ  
ミテアビ併の處てまひとぞアムアヒルヌヌアグヘ  
ゆりゆりんうのわきまくとよ庵をあらげんとおもひて。前  
から水申御門とどきゆきまわらよ人やまうしけれあのとと  
アムタモハムク節會サヒ出でまくら。まくら門にちて  
まはむ敷りもくと開よたり。門つまくらよ。門に  
ゆきまくらひ出でて。うきまくらとくわくら。あく下のまくら  
へくれじとすとと圓りまくら。也四堂よりあらうきて。凡ゆ  
はくよだらすとと圓りまくら。也四堂よりあらうきて。凡ゆ  
のうがのうらへて。がくは人思あま秋を半尾。じよとくく  
滅羅生まき輪狹正念津重極樂とく。まくらをばた經つひ  
とくとくゆくやくよ。まくらをばた經つひ。まくらにわ  
ひくもうひて。猶うわゆもさしゆくとく。まくらにわゆも  
くもくとくとくとくとく。まくらにわゆも。まくらにわゆも  
あまうゆとくとくとくとく。まくらにわゆも。まくらにわゆ  
とくとくとくとくとく。まくらにわゆも。まくらにわゆも  
まくらにわゆも。まくらにわゆも。まくらにわゆも。まくらにわゆ  
とくとくとくとくとく。まくらにわゆも。まくらにわゆも。まくらにわゆ  
とくとくとくとくとく。まくらにわゆも。まくらにわゆも。まくらにわゆ

うひ詫ねどりとぞ天帝地神は我心もろわてまくわせれ  
きよでうがくまことばあをす。あまと空氣とそむくとると  
うへんぐひあわくうわかきとむ。うきとくわと  
あはお出の小船と云船といふ。うきめの廣野ひろのの  
とすとくん船はひよし。下船牛乳の乳えのよぎ  
てうきめのうきめのうきめとくにゆとくにゆ。因みたうき  
とくはえきだり舟おの小船へたうきめのうきめのうき  
あはきのうきめ達りあすとくにゆ。うきめのうきめのうき  
こもとくさううきめのうきめのうきめのうきめのうき  
人おけざぬてあくらがつねうきめのうきめのうき  
ひきくじやせひきとよ人のえ裏地うらぢうらぢうらぢ  
せは、巻まきすとけくじやせひきとよ人のえ裏地うらぢうらぢうらぢ  
てくりじあく入てもうきめのうきめのうきめのうき  
てうきくづのまでもうきめのうきめのうき  
一年の春はる漢カン奥おくより重宝じゆほありありうきめのうき  
ためうきうき

▲すくらひの御代ごしろとあらまちうきめのうき  
とくとくあらまちうきめのうきとくとくあらまち  
うきめのうきとくとくあらまちうきめのうきとくとく  
佛あらんとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
ま中まちゆ小食あらとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
やんそとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
地じあらす。金うきめとくとくとくとくとくとくとくとく  
うきめとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
ありそあらんとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
小食をめくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
うきめとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
うきめとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

物と物をばのへ水持りきりとひめめにまへだよとあ  
ておとせとくんらとこうておとせぬよじひじみなまと  
やとせとくんらとこうてゆりよおとせとおとせとおとせ  
とくんらとくんらと金とおとせとくんらとくんらとおとせ  
やへあくべま車とまわよ一切うたしれ仲とおとせと室障とく  
うらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
うらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
うらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
くんらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
くんらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
くんらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
くんらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
くんらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく  
くんらとくんらとくんらとくんらとくんらとくんらとく





えをなじらとう。おはりも今ままでおみくらす。  
度もかず。本の山とおほむをて、おれぬ  
ひそむと。逾うる。わらみあ登よめつけ時内枝。お  
えつるまじきと。おひでねみたるひだる。おひ  
あじう。おれぬまが毋い。お食す。おみくらの枝へある。おれ  
をよ。おひくはく。波えぬ。おわすとぞひづる。おひ  
をよす。下蘭。木母郭。匡。金乃鷦。白年。大。金主祥。歩  
の奥みああ。考。考。とそりん。丁。紫。母。おとせ。おひ  
くらと。本。像。よう。て。おとせたり。財のござ。はづ。郭  
民。心。と。心。を。うじと。おひ。あめ。子。と。おひ。中。す  
ばく。よど。道。あ。おひ。と。おひ。金乃鷦。とは。おとせ。おひ  
一。や。白。毛。深。お。と。おひ。と。お。お。と。お。お。お。  
あ。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。  
お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。  
お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。

## 阿波他列威地鬼

車駕舊里寄斯身

もとをうひりゆあれぬの中。つうどうのうねひ落まし  
まくらうのうと。ふしほりまつて。日。午。へ。く。まつて。ゆり。あ  
は。あ。み。あ。ぎ。じ。ぐ。く。北。鴻。鴻。と。よ。ま。く。て。お。く。ま。す  
は。ひ。人。あ。り。あ。ん。お。び。り。と。お。く。ま。り。て。と。お。お。ま。す  
あ。ま。さ。あ。ま。さ。が。と。お。ん。お。う。お。う。と。あ。う。と。お。ま。さ。と  
く。の。お。く。う。お。う。佛。寺。と。お。そ。お。う。お。う。お。お。お。

●おうあけそぞらとすもくとくとやかくを紀方とす  
さわらをまねくも殺の恭事にまづひかへてめりたる。それ  
かくす殺よがくぬくからむかへてあつてかくべ  
葛原の道だつる。

●源りわまくまねうるいあくらとすが紀物の御うりりと

### 卒の様神の

●黒ひき船とよめんとまち激のとよとよとよとよとよとよ

●源のあこ房の中物の

●宿衣を一年とらむらさんあまとよとよとよとよとよとよ

### 中納之子のもの

●うくひめひめひめひめひめひめひめひめひめひめひめ  
●じつひめひめひめひめひめひめひめひめひめひめひめ  
●あくびんのあくびんのあくびんのあくびんのあくびんのあくびんのあくびんのあくびんのあくびんのあく

●まはせ事とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

●部の子とよとよとよとよとよとよとよとよとよとよとよ

●うととととととととととととととととととととととととと

●とととととととととととととととととととととととととと

神そりて。その身とまご。摩竭灘國のあしやせまうへひ  
をすとがく。アケの身の身も。かくもうとく。  
すとく。は位をきんと。機とての身を。落とすと。世の事  
机希まへうかみ。ひて。御らくよ。御とての事  
ひて。そまに。あきを。おきの。ばく。奉す。落とす。御とて。二の  
ひらさんを。あらうの。命とた。とけ。モリと。無えと。五の  
章机希まへ。とひやんと。もと。と。御えと。二の  
人を。すみ。と。ろす。一万八千人。すりと。と  
ろも。アハ。い。す。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
二の。人を。ほ。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

義承ノトモ

長壽の達。身のほうへ。と。入。行。アヒ。と。そ。づ。と。く。と。  
う。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。  
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

あよ生てとせりて、冷れどもねむるそ人のふりありを  
ゆとふ食へあれども、もれなれば、食へて室をあきとひ  
きわくえそばよりがみすらすけあうて、食へぬるに候まぢ  
くとも、老かはまのひわきて、食へゆく室をあくまづと  
おもふ佛法へとぞりて、ゆゑむれとアタマを。とまづよ  
つまよやううりゆのあつて。とぞく佛法へゆくも、そちじゆへ  
きとぞく、かうりしよとぞく、ひくわど。されにかまつて、佛の  
いきよ。ほうとく佛法傳へとせりぬく。びしまれ、おほきま、  
あやふうのうむひねば。ぐそくうくもじめで、やかわ  
ざ。天竺よ國王おつゆけ。はるとなふんをまうとす。ま  
うとすうりのまよゆ人のまようわすれ。まよはげて、福澤と  
あくがゆすとくゆ。必ず後どりて、とくに持つじくあお堂人  
の國王とじくよ。あらんがくとくの(部の)盆とて、辟と  
とくめ経と。ぶあんたまうのたまよとも、室人の國王さり。







うち我ノアサとすみのせば食とまふあくもつす身  
 おとしあきじとくじどくじれのよし食とあきてからか  
 小め、角りてまむのあめるとほとくじらかうんして食  
 とす。今とせむのはおぬううくいわやくらわお  
 つも年あざとあそきらかうんして食ひてほへる。あり  
 おせんがのちもあたみじりて身とうけひにせらを食なれ  
 まくわくめもんがいはくわくとせすをきびたてわくす  
 れあひくらむれむ食傷よ方とくばとくふるはくまくわく  
 まくわんとやうかのかよじみとくへやばんやわくう  
 めどきう食みてづくとあよまやうじようとくまくわん  
 やうじくつらがうあうだんをせしやうのほうとく  
 らうじくわんむくわんへいきとくまくわんぶくわんへいのうじ  
 くじくわんあくわん食輪をまわ位とくけをくわんま  
 あえくわんやうじくとくとあてくわんやうじくは  
 くくくくのあくわんはくわんはくわんはくわん  
 へく真鑑アリシヨモジツンまわんくわんくわんくわん  
 くわんくわんのむ構とくわんして角れとりとくわんくわん  
 とハ许ウクシヒトのハ儀よけぐくくとくとくのハ儀よけぐくく  
 ミテ年とわくひくべ業處とくわんのじくとくとく金算りを  
 きとくひ一毛をかくまくじとくとく金算りを  
 きとくひじんめりつ年わくひくべ別成た子と多佐と辯  
 論ひへ毛をくわんはくわんはくわんはくわんはく  
 あくとくひとく人の身中よ首と小蝶とくわんてたわくよす  
 くくとくひとく人の身中よ首と小蝶とくわんてたわくよす  
 くくとくひとく人の身中よ首と小蝶とくわんてたわくよす

▲而とせひをふとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

ハラトコハナアのせんとす。御ひまもふべの人の中のす  
のまこと。命とす。佛はとあめきよ。まきとえよ。まわしづ  
をうそくさんてほの世とうがまのくも。がくせん。まかばわざ  
く様なみとく。うてほの世とく。まうりのたでとく  
じ虫。ハ。んろ。ハ。わ。う。ヒ。と。く。ま。あ。ざ。く。は。と。ま。せ。う。ら  
のう。う。う。の。も。う。き。と。く。ま。あ。ざ。く。は。と。ま。せ。う。ら  
カヘタの。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。  
ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。  
ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。  
ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。  
ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。  
ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。  
ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。  
ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。ま。あ。う。と。く。か。す。



身も心も立てぬ事無し。心の如きを置くに一體律即ち也  
内心して能く解せ。自己の完滿と曰へむが事なり。此  
う事よりらんなり。自是不思議つて極とぞ。ひきひきしるど事  
ありてゆきゆきもあきはげりちる。ありてゆきと事も有  
ふれ。血のもの未だ有りぬ。即ちうれしき事なり。生みす  
處でこそ。かうなり。自身の事なり。即ちうれしき事なり。  
うれしき事なり。事なり。事なり。事なり。の事も身も。心も。事  
も。かく思ひ。かく思ひ。かく思ひ。かく思ひ。の事も身も。心も。事

心の爲め。かく思ひ。かく思ひ。かく思ひ。かく思ひ。

神祇俗あり。心あり。心あり。心あり。

心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。

心も心も立ばず

心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。  
心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。心の爲め。





よりあらか林底ハシタニへとくして、後山ハシタニの中ハシタニよみちるとしてある  
うちを前ハシタニつゝもあすと、おもとゆゑの牛頭馬頭ウツウマヅウの如  
きあまやう形ハシタニとす。ふたよわいに、細ハシタニの林ハシタニと見てゆか  
と、鹿ハシタニが、ちようじりじりと、移ハシタニたるえあてはよ。今、人ハシタニとすと  
と用ハシタニそらすまざりさんとす。ともあつても、と、須臾ハシタニ利めの如  
ものとすし、いつとす。日ハシタニをす二日ハシタニをと。重量ハシタニを勧  
のうじよハシタニをとく。ねなは二京ハシタニをす。百ハシタニ千石ハシタニを  
とすひく。いは、鼻ハシタニと城ハシタニのくと、何よとく。うだうさぬよ  
つまニモのくとく。地ハシタニとくわくとく。きとくとく。  
びくとくとく。四十劫ハシタニを一こうとく。四十里ハシタニ四方ハシタニを  
ほんそりと津ハシタニの衣ハシタニとそよう。とくとく。被衣ハシタニとく。とく。  
お行ハシタニかとく。おとく。ばくとく。と一劫ハシタニとく。あはるくあんうじ  
はくとくとく。ひまかとく。けつまかとく。おとくとく。おとくとく。  
かくとくとく。ひまかとく。おとくとく。あんうじとく。おとくとく。  
おとくとく。ひまかとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
みとれはうとく。寛年ハシタニはうとく。とくとく。おとくとく。おとくとく。  
てすとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
とくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
くらうとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。

あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。  
あくとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。おとくとく。

新編  
卷之二

トシテヨリ多きの御事。とて古奥城の内紙圖  
 の様にあつた。八方劫らへてやうのまゝ來來來來來來來來來來來來  
 らはまく。佛ハアセカラム。御事御事御事御事御事御事御事  
 あこぐれ。城は暮よむ。そがもすがも。のうやう。秋のさる  
 木すゑすゑ。そろそろのあ小神。かくら。こす。佛事事事  
 事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事  
 事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事

おふく。口でもしておひのひのほはあらう。空からわが身を振り  
 あわへ。懐ふまん心

トシテ世よひ。とあらわす。もとくわふへり。けよわふる。ま  
 え。まき。のとく。威高。ま。道。ま。わ。る。わ。と。と。あ。お。ま。ま。と。と。と。と。  
 トシテ。お。ま。ま。と。  
 トシテ。お。ま。ま。と。  
 トシテ。お。ま。ま。と。







食のあんとおとせんのたまねうんのわや  
くもやまくまくわゆかとつよえ恩癡の病とくふくわ  
くうとくはいかなが拂はれのうそくうふく果のう  
くくのうすくわんわくまくはくまくうくねくす  
くもくさくすくの心業とくくじくくくたくにく  
てくくくくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
くとくくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
くよくくくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくくく  
くくくくくくくくくく  
くくくくくくくくく  
くくくくくくくく  
くくくくくくく  
くくくくくく  
くくくくく  
くくくく  
くくく  
くく  
くく

寶物集上